

取組名称	豊島区こんぶ湯SDGsプロジェクト～東京湾こんぶ養殖と教育・地域企業を巻き込んだ循環型社会へ～			団体設立後の経過年数	1年
応募取組主体名称	豊島区浴場組合	活動地域	東京都	応募取組の活動年数	3年
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input checked="" type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境ひとつくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 地球と人への想いやり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>海環境悪化（特に磯焼け）が問題になる中、こんぶ養殖は沿岸部の海洋環境を整え、CO2の吸収量は森林の5倍と温暖化対策に大きく寄与します。そのこんぶの利活用としてのこんぶ湯では、豊島区浴場組合、自治体、地域の企業、団体の協力を得て開催し、地域の子供達へのキャリア教育、SDGs教育を実施しました。またこんぶ湯で出た廃材は、障がい者就労継続支援団体と協力して、回収、乾燥させ茶畑へ肥料として再利用をする形を取り、循環型経済として資源を有効活用を実施しました。</p>
実績の要旨	<p>東京湾（横浜市）での、継続的なこんぶ養殖を実施することにより、海環境回復と共にブルーカーボン（海の炭素吸収量）の認定も頂けるようになりました。</p> <p>また豊島区では地域社会と連携した形で、小中学校でのSDGs教育の実現と興味を持った子供達にこんぶ湯を手伝っていただくことで、新しいキャリア教育の実現ができました。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	森林の5倍のCO2を吸収する昆布は温暖化に歯止めをかけ、プランクトンや小魚の住みかとなり、豊かな漁場や生態系の保全になる。
	社会・経済への貢献	昆布養殖は漁師の副収入としての支えとなり、また街の交流の場としてある銭湯も客足の低迷から閉店が多くある中での集客に貢献している。
	地域資源の活用	昆布は淡水や肥料を使用せずに生育できる上、こんぶ湯として使用した廃材は、茶畑に肥料として再利用され、循環型経済として活用している。
	普及・汎用性	海洋国家の日本において、北は北海道、南は九州まで昆布養殖できる地域はあり、全国の自治体・銭湯組合への横展開が可能である。
	革新・ユニーク性	自治体、一次産業、企業、教育、地域社会を巻き込んだ、多様なステイクホルダーが一連のSDGsの取組に貢献できていること
	継続性	全国における銭湯組合にこんぶ湯と一連の活動のPRを実施し、豊島区から全国へと展開を進めています。

展望の要旨	全国の銭湯組合と地域の漁業組合、自治体への横展開を進める共に、お風呂に関係するこんぶ商品の製造なども進めていきます。
-------	--